

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成28年7月28日 (2016.7.28)

【公開番号】特開2015-68517(P2015-68517A)

【公開日】平成27年4月13日 (2015.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2015-024

【出願番号】特願2013-201016(P2013-201016)

【国際特許分類】

F 2 3 G 5/50 (2006.01)

F 2 3 G 5/44 (2006.01)

F 2 3 G 5/00 (2006.01)

F 2 3 G 5/04 (2006.01)

【F I】

F 2 3 G 5/50 Z A B K

F 2 3 G 5/50 C

F 2 3 G 5/50 L

F 2 3 G 5/50 M

F 2 3 G 5/50 N

F 2 3 G 5/44 F

F 2 3 G 5/00 1 0 9

F 2 3 G 5/04 H

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月9日 (2016.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

【特許文献 1】特開昭 5 9 - 4 4 5 1 3 号公報

【特許文献 2】特公平 5 - 3 1 0 4 5 号公報

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

上記の乾燥段側の供給口から供給される再循環排ガスの供給角度は、水平方向から上向きを正の角度として水平方向に対して - 1 6 ° ~ 0 ° の範囲で制御される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 8】

乾燥段上部天井壁 ( 7 ) からの再循環排ガスの供給角度を、水平方向に対して - 1 6 ° 、 - 1 2 ° 、 - 8 ° 、 - 4 ° および 0 ° ( 水平 ) とした場合を、それぞれ、実施例 1 ~ 5

として計算し、得られた結果を下記表 3 に示し、また、実施例 1 ( - 16 ° ) の場合の  $\text{NH}_3$  濃度を図 5 に示し、実施例 3 ( - 8 ° ) の場合の  $\text{NH}_3$  濃度を図 6 に示し、実施例 5 ( 0 ° ) の場合の  $\text{NH}_3$  濃度を図 7 に示す。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

表 3 に示されるように、乾燥段上部天井壁 ( 7 ) の供給口 ( 7 a ) から供給される再循環排ガスの供給角度と、一次燃焼室出口における、温度、 $\text{NH}_3$  濃度、 $\text{NO}$  濃度、二次燃焼室出口における  $\text{CO}$  濃度、 $\text{NH}_3$  濃度との間には相関関係がある。また、図 5 ~ 7 によっても、再循環ガスの供給角度に応じて、乾燥段側に引き寄せられる  $\text{NH}_3$  濃度が大きく変動することが示されている。